

TOPIC 10
10
7
ふるさとに思いよせ

東京しらぬかふるさと会総会

白糠町の出身者でつくる「東京しらぬかふるさと会」の総会が東京都内のホテルで開かれました。

現在の会員は159人。総会には会員34人をはじめ、来賓や関係者など約60人が出席。総会では役員改選が行われ、福司晃さんが新たに会長に就任しました。

引き続き行われた「ふるさとを語るつどい」では、同会へ新たに加入した帝京大学准教授で駅伝競走部監督の中野孝行さんが紹介されたほか、地元特産品が当たる抽選会などで盛り上がっていました。



久しぶりの対面開催で談笑する参加者



茹で毛ガニは販売前から行列ができていました

TOPIC 11
10
8
白糠産の食材が大集合

しらぬか秋の収穫祭

町振興公社主催の「しらぬか秋の収穫祭」が恋問館で開催され、町内外から多くの方が訪れました。

会場では、100杯限定の茹で毛ガニや新鮮野菜が販売されたほか、昆布やアサリ、ツブなども人気を集めていました。対象商品を千円以上買うとできる「ガラポン抽選会」も行われ、毛ガニやウニ、サケが当たると会場では歓声が上がっていました。釧路市在住の鍛冶孝亮さんは「買った毛ガニを食べるのが楽しみです。両親にもプレゼントします」と話していました。



ゴールを目指して懸命に泳ぐ選手（バタフライ）

TOPIC 7
10
1
練習の成果存分に発揮

第1回町長杯水泳大会

「第1回町長杯サンアリーナしらぬか水泳大会」が温水プールで開かれました。大会に先立ち、2018年アジア大会競泳男子800m金メダルの坂田怜央選手が泳ぎを披露。坂田選手は「一番最初に持った目標をずっと変えないことが大切」とアドバイスを送りました。

大会には、町内のほか帯広市や音更町の小中学生21人が出場。自由形や背泳ぎ、平泳ぎ、バタフライ、個人メドレーなどで、それぞれタイムを競い合いました。大会結果は5頁に掲載しています。

TOPIC 8
10
1
結婚50周年の節目を祝って

第45回 金婚ご夫妻慶祝の集い

町女性ボランティアクラブ（松森千枝子会長）主催の金婚ご夫妻慶祝の集いが社会福祉センターで開催され、昭和48年に結婚した3組の夫妻が出席しました。

式では、来賓の棚野孝夫町長が「これからも互い助け合い、夫婦ともども元気で過ごしてください」とあいさつ。その後3組の夫妻は、共に歩んだ50年を振り返りながら歓談をしました。

参加した夫妻は次のとおりです。坂本勝男・紀美子さん／加野隆一・一恵さん／磯部雄次・恵津子さん



左から加野夫妻、磯部夫妻、坂本夫妻、棚野町長

TOPIC 12
10
8
交通事故ゼロを願って

ライオンズクラブ交通安全街頭啓発

白糠ライオンズクラブ（高橋清美会長）は10月8日のライオンズデーに合わせて、道の駅しらぬか恋問の駐車場で交通安全の街頭啓発を行いました。

この日は、同クラブの会員5人が鍛高ラムネ2個と飲酒運転根絶のチラシ、ポケットティッシュが入ったセットを50個配り、運転手に「安全運転をお願いします」と声を掛けました。

高橋会長は「このような活動が積み重なり、事故のない社会になることを願います」と話していました。



運転手に交通安全を呼びかける高橋会長



最後は恋問海岸でお別れのあいさつ

TOPIC 9
10
7~9
白糠の魅力を通して交流

くしろ地域魅力体験交流ツアー

釧路管内8市町村と東京都荒川区との連携事業「北海道・くしろ地域魅力体験交流ツアー」が行われました。ツアーを通してたくさんの学びと気づきを得てもらうもので、今年は7～9日までの3日間、弟子屈町と白糠町を会場にそれぞれ行われました。

白糠町には荒川区の小学生と保護者3組6人が参加。白糠町の小学生3家族とともにサケの三枚おろしやブルーベリージャム作り、ムックリ演奏など、食や自然、アイヌ文化などに触れながら交流を深めていました。